

活動写真弁士

和洋合奏団 (カラード・モノトーン)



澤登 翠



片岡 一郎



坂本 頼光



山崎 バニラ



大森 くみこ



湯浅 ジョウイチ



鈴木 真紀子



宮内 亜紀子



山城 秀之



山内 菜々子



尾田 直彪



武藤 兼治



高橋 諒



長谷川 晶子



杉本 顕子



金丸 寛

活動写真弁士の皆さんによる「声色掛け合い」と和洋合奏団「カラード・モノトーン」による

第三回 京の活動写真 下鴨映画祭

目玉の
松ちゃん

尾上松之助
生誕150年記念

無声映画
鑑賞会の父

松田 春翠
生誕100年記念

特別
上映会

日 2025.12.11(木)
時 13時～17時30分(開場12時15分・予定)

会 京都府立文化芸術会館
場 (府立医大病院前：河原町通り今出川下る)

入場 全席予約・指定席
無料 一般席 約200席

お申込受付期間

10.20(月)～11.20(木)
(お申込方法は裏面)

活動写真弁士による
「声色掛け合い」
の光景
下鴨映画祭より
(2025年2月)

荒木又右衛門
(岡山後楽園にて)▶



※全席座席指定での運営です。

ご入場には「入場整理券・座席指定入場券」が必要です。詳しくは裏面をご覧ください!!

主催：尾上松之助遺品保存会 協力：国立映画アーカイブ 神戸映画資料館 マツダ映画社
ご案内窓口：NPO法人下鴨学区自治連合会 下鴨風土記研究会 マツダ映画社 尾上松之助遺品保存会

無声映画鑑賞会の父 松田春翠 生誕100年記念

貴重な映画フィルムの発掘・保存と、活動写真弁士の育成に努められた功績を偲んで



ご来賓代表挨拶

新木 直人
賀茂御祖神社宮司



講演

松田春翠氏のご功績について

入江 良郎
国立映画アーカイブ・副館長

プログラム5



講演

最古の忠臣蔵映画
(マツダ映画社版)について

児玉 竜一
早稲田大学
演劇博物館・館長

プログラム7

13時10分～ 特別上映

日本映画の父・牧野省三監督作品「雷電」(昭和3年) 提供:マツダ映画社

プログラム1



山崎バニラ・
大正琴弾き語り



13時30分～ 特別上映

オールスター映画の巨匠 池田富保監督作品「自来也」(大正14年) 提供:マツダ映画社

プログラム2



弁士・高橋 諒
初登場
和洋合奏団
(カラード・モノトーン)



第一部

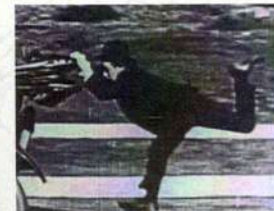
13時40分～ 特別上映

「ドタバタ撮影所」 提供:マツダ映画社

プログラム3



弁士・山内菜々子、
和洋合奏団
(カラード・モノトーン)



14時05分～ 特別上映

新発見・尾上松之助有名作品のロケ映像 詳しくは当日発表

プログラム4

目玉の松ちゃん 尾上松之助 生誕150年記念

1000本の作品に出演も、現存するフィルムは10本程度、その中から3作品を上映

活動写真弁士10名、和洋合奏団6名による「声色掛け合い」での上映

活動写真弁士



澤登 翠



片岡一郎



坂本頼光



山崎バニラ



大森くみこ



山城秀之



山内菜々子



尾田直彪



武藤兼治



高橋 諒

和洋合奏団(カラード・モントーン)



湯浅ジョウイチ



鈴木真紀子



宮内亜紀子



長谷川晶子



杉本顕子



金丸 寛

14時40分～ 特別上映

弁士4名による声色掛け合い

「弥次喜多 善光寺詣り」(大正10年) 監督：辻吉郎、小林弥六

提供：国立映画アーカイブ

第二部

プログラム6



16時15分～ 特別上映

弁士10名による声色掛け合い

「最古の忠臣蔵映画(マツダ映画社版)」

(明治43年～大正6年頃の忠臣蔵映画を編集、初の全通しの忠臣蔵映画に) 監督・牧野省三

提供：マツダ映画社

第三部

プログラム8





尾上 松之助 氏

明治8年(1875年)岡山市生。
呉服屋に奉公したこともあったが、14歳の
時、旅役者の道へ。明治37年、二代目尾上松
之助襲名。明治42年、牧野省三に勧められ
活動写真の世界へ。時代劇スターの元祖と
して1000作品に出演と伝える。

大正10年12月文部省主催活動写真展覧会で「史劇楠公訣別」
を実演、摂政宮がご台覧。大正12年11月、関東大震災罹災者
への慰安劇に対し、永田秀次郎東京市長から感謝状を受く。
晩年は学校や社会福祉事業に多額の寄付を。大正15年9月没。
昭和41年、松之助の社会福祉への功績を讃え、下鴨神社の南、
鴨川葵公園に「尾上松之助像」が建立された。



松田 春翠 氏

大正14年(1925年)東京都生。
初代春翠の実子、幼くして少年弁士となる。
出征を経て昭和22年に復員、23年に二代
目松田春翠を襲名、この年「全国映画説明
者競演会」で優勝。

昭和27年マツダ映画社を設立、34年毎月
定期的に無声映画を弁士付きで上映する「無声映画鑑賞会」
を設立、会長に。
昭和60年「第一回東京都文化賞」を受賞、半世紀にわたり
無声映画の説明および発掘と復元、並びにその保存に献身的
努力を重ねた。昭和62年8月没。令和7年3月、「無声映画鑑賞
会」は800回記念を迎え、全国から37名の弁士・楽士が参加。

一般席・約200席：入場無料 お申込方法

全席予約・座席指定
お申込み多数の場合は抽選

1. 恐縮ですが「往復ハガキ」で次の通りお申し込みください。

2. 宛先：〒600-8064

京都市下京区本上神明町440 尾上松之助遺品保存会

3. お申込受付期間：2025年10月20日(月)～11月20日(木)

お申込期日：2025年11月20日(木)必着

4. ご記入頂きたい内容(お申し込みは3名様まで)

- ①申込代表者氏名・ご住所・連絡用電話番号・
出来ればメールアドレス
- ②申込者全員のご氏名
(当選の場合、ご一緒に入場願います)
- ③お申込み多数の場合、受付番号による抽選のうえ、
「当選、又は、落選」のご連絡を行います。

④お差支えなければ、次の事項もご記入下さい。

- ・このイベントのことは、どうしてお知りになりましたか？
- ・お申込み代表者の年齢、ご職業
- ・無声映画の活弁上映会をご覧になるのは何回目ですか？
- ・ご要望、ご意見などご自由をお願いします。

⑤「返信用はがき」へのお申込者の「ご住所、ご氏名」

5. 抽選結果のご連絡について

2025年11月30日(日)頃までに「返信用ハガキ」を発送予定
です。
ご当選の場合、この「返信用ハガキ(入場整理券)」を必ず
ご持参ください。

昭和41年尾上松之助像建立式



尾上松之助像建立式 尾上松之助・孫・中村康三さん

下鴨神社南・鴨川・葵公園 尾上松之助・孫・中村康三さん

「尾上松之助・社会福祉募金箱」へのご協力をお願い

今回も会場内に2箇所、「尾上松之助・社会福祉募金箱」を設置させていただきます。
ご協力頂きました全額を「京都府社会福祉協議会様」と、「京都市左京区社
会福祉協議会様」にご寄付させていただきます。どうぞ宜しくご協力の程、お願い申し
上げます。

御礼とご挨拶

このたび「第三回 京の活動写真
下鴨映画祭」を開催させて頂くに
つきましては、今回も下記の通
り、大変多くの方々にお世話に
なりました。ここに謹んで御礼申
上げます。来年以降も継続し
て開催させて頂ける様に頑張り
ますので、引き続き、どうぞ宜し
くご協力の程、お願い申し上げ
ます。

賀茂御祖神社(下鴨神社)、国立映画
アーカイブ、早稲田大学演劇博物館、
神戸映画資料館、NPO法人下鴨学
区自治連合会、下鴨風土記研究会、
マツダ映画社、黒瀬映像演出事務所、
銀座タイプ印刷社、喜彩堂、山口博哉、
松山博 京都府立文化芸術会館
(敬称略)

今日このように、目玉の松ちゃんの活動写真を、活動写真弁士の皆さんと、和洋合奏団の伴
奏でご覧頂けますのは、全て、松田春翠さんのお陰だと思っております。

関西では「無声映画鑑賞会の父・松田春翠さん」と申しまして、ほとんどの方は、氏のこ
とをご存知ないのではないのでしょうか。貴重な映画フィルムの発掘・保存に努められただけ
でなく、一時「絶滅危惧種」とまでささやかれた「活動写真弁士の育成」に努められ、貴重な無声
映画を、活動写真弁士と、和洋合奏団の伴奏で、私たちに楽しませて下さったご功績は、特筆
すべきものがあります。

本年3月には、「無声映画鑑賞会800回記念」を迎えられ、記念の上映会「百花繚乱」
には、全国から37名もの弁士・楽士が集まりました。この京都では考えられないことです。
京都では、今年も松之助の「渋川伴五郎」「弥次喜多」が「サイレント」のまま上映されました。
「弁士・楽士を育てる」という風土は京都には無いように思います。「下手な弁士の説明で、映画
が台無しになっては困る」と言われた方があります。皆様はどうお考えになりますでしょうか？

私共は、活動写真弁士の皆さん、和洋合奏団・楽士の皆さんが、今後も大いにご活躍され、
「日本映画草創期の上演形態・声色掛け合い」が、いつの日か、日本の映画文化の「無形文化
遺産」となるよう、マツダ映画社さんのご活動を応援させて頂こうと思っております。

引き続き、どうぞ宜しくご協力賜ります様、お願い申し上げます。

主催者代表 尾上松之助遺品保存会 松野吉孝